

おうしゅう環境フォーラム2014 特集号



オープニング『立石百姓踊り』（岩手県立水沢農業高等学校 民族舞踊同好会）



当日は約 200 名が参加

奥州めぐみネットと奥州市は、11月8日(土)、水沢地区センターを会場に「おうしゅう環境フォーラム2014」を開催しました。

8回目となる今回は「守ろう 残そう 子どもたちへ 先人のこころ 住み良いふるさと ~一人のエコからみんなでエコへ~」をテーマに、基調講演や各種団体・企業等のブース展示、エコ・アイデアの展示・表彰・ファッションショー、奥州はっと汁の振舞いなどを行いました。

実行委員・スタッフとして運営にご協力いただいた皆様、また、当日ご参加いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。



エコ・アイデア応募作品によるファッションショー

古着リサイクルを実施

フォーラムの開催に合わせ、ごみ減量化を目的として実施した「古着リサイクル」では、241家族が古着を持参し、回収した総量は2,940kgとなりました。回収した古着は、東南アジアなど海外で再利用されます。

参加者からは、「助かりました」「またやってほしい」などの感想・意見が寄せられました。





基調講演『温暖化防止のための森林・林業・木材の役割』

講師：独立行政法人森林総合研究所 東北支所長 駒木 貴彰 氏



講演要旨

《世界の森林、日本の森林》

2010年の世界の森林面積は約40億haで、陸地の約31%を占めるが、毎年521万ha減少している。日本では、森林面積は増えていないが、戦後に植林した人工林が利用期になっており、蓄積は増えている。

《地球温暖化がもたらすもの》

今後100年で気温上昇が1.5~2.5℃を超えた場合、植物及び動物種の約20~30%は、増加する絶滅のリスクに直面する可能性が高い。日本では、ブナの分布域の変化やマツ枯れ被害の拡大などの影響が予想されている。

地球温暖化の原因は、CO₂をはじめとする温室効果ガスによるものであるため、温暖化対策としては、CO₂を出す量を減らすことと、CO₂を吸収することの両方が必要。

《森林・林業・木材の役割》

森林は長期間にわたりCO₂を吸収し、炭素としての蓄積を続ける。木材の重さの約50%は炭素の重さ。木材を利用することにより炭素を貯蔵した効果が得られる。

地球温暖化に対する木材の効果は、炭素貯蔵効果、省エネ効果及び化石燃料の代替効果がある。

一般的な木造住宅1戸の炭素固定量は約4~6 t、CO₂換算では15~20 tあり、日本全体での木造住宅による炭素の貯蔵量は、1,000万haある人工林の約半分相当で、炭素を貯蔵する効果がある。(図1)

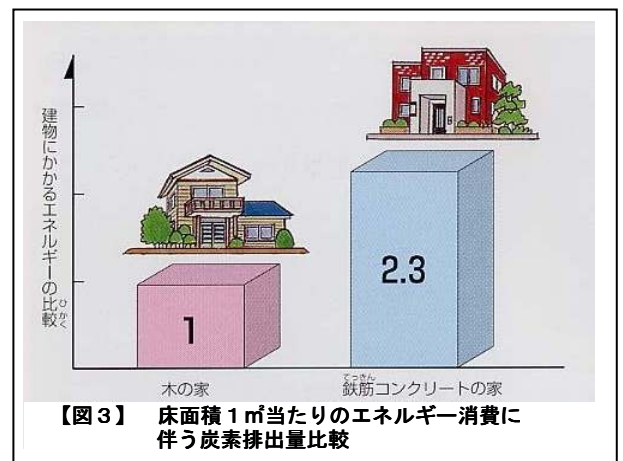
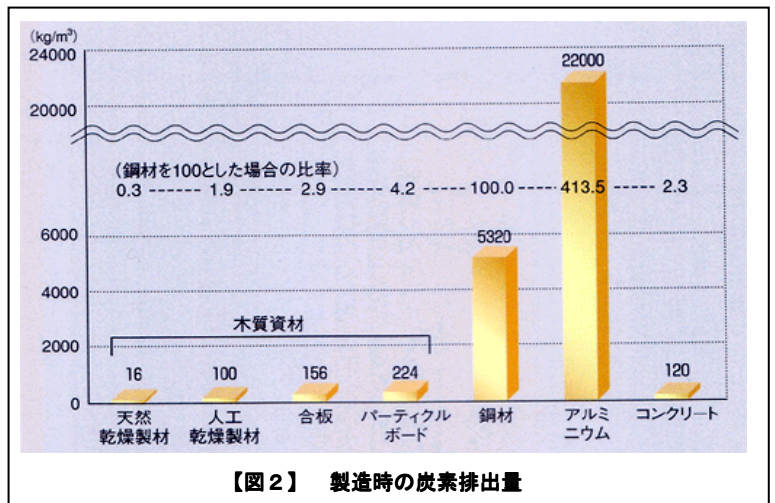
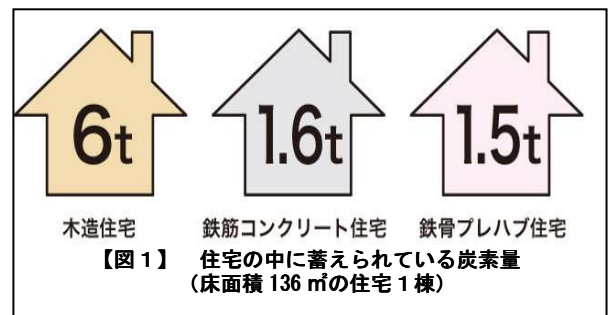
材料1 m³製造時の炭素放出量を比較した場合、天然乾燥木材を1とすると、鉄は330倍、アルミは1,380倍であること(図2)、木造住宅の床面積1 m²当たりのエネルギー消費に伴う炭素排出量は、鉄筋コンクリート住宅の半分以下であること(図3)などから、木材には省エネ効果がある。

また、化石燃料の代わりに木材を利用すると、その分だけCO₂の排出量を減らすことができる。スウェーデンでは、全エネルギーの約20%が木質バイオマスエネルギーとなっている。石油を買ったお金は海外に逃げるが、木材は国内に落ちるので、経済効果もある。

森林は、CO₂の吸収と、木材利用によるCO₂の排出削減の両面から温室効果ガス削減に貢献している。森林吸収量だけの評価から、森林吸収量と木材利用による排出削減量を足し合わせた評価が必要。

《むすび》

森林を守り、育て、慈しむこと。それが地域の環境保全と地球温暖化防止につながる。木材を大いに利用し、かつ無駄なく利用することが、地域経済の活性化と地球温暖化防止につながる。自分たちができる地道な取り組みが、私たちの子孫により良い社会を引き継ぐことにつながる。





エコ・アイデア表彰 ～一人のエコからみんなでエコへ～

今年で3回目となるエコ・アイデア募集には、一般の部アイデア部門に2点、同作品部門に10点、中学生の部に64点の応募があり、審査委員会（浪越和彦審査委員長ほか3名）による審査の結果、次のとおり入賞者を決定し、フォーラム当日に表彰しました。

【一般の部（アイデア部門）】

賞	受賞者（敬称略）	タイトル
めぐみネットエコ賞	若生 和江	STOP温暖化コンポスト
もっと広げま賞	高野 弘子	寒さシャットアウト君

《めぐみネットエコ賞》若生和江さん「STOP温暖化コンポスト」

CO₂の固定に有効なピートモスを使わずに、なるべく環境にやさしい素材でできるダンボールコンポスト。今回は市販の木くずを使用しましたが、もみがら、くんたん、米ぬか、木くずなど、身近な手に入りやすい材料で作る“地場産コンポスト”を目指します。（※ペットボトルの湯たんぽで作り始めの加温が手軽で確実になり、失敗を減らせます。）



【一般の部（作品部門）】

賞	受賞者（敬称略）	タイトル
めぐみネットエコ大賞	菊池 光子	Yシャツと古布リフォーム
めぐみネットエコ賞	水沢友の会 千葉カツ子	肩のこらないほかほか家着
もっと広げま賞	J A江刺女性部岩谷堂支部	あったか肩かけ

《めぐみネットエコ大賞》菊池光子さん

「Yシャツと古布リフォーム」

白Yシャツを藍染めしたが、なかなか着る機会がないためチュニックにしました。

背中部分は前身頃に、半袖部分はポケットにし、後身頃には古布をはぎ合わせて作りました。



【中学生の部】（テーマは「省エネ」）

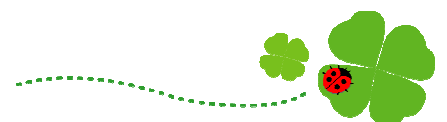
賞	受賞者（敬称略）	タイトル
めぐみネットエコ大賞	小山中学校 3年 遠藤 優花	簡単！我が家のエコクッキング
よく気づいたで賞	小山中学校 3年 飯口 龍	電気代、ガス代、水道代を少しでも減らすために
ホットするで賞	小山中学校 3年 佐藤 吉恵	火を使う時間を半分にしてあつあつの鍋を食べよう
めぐみネットエコ賞	小山中学校 3年 千葉 窓花	我が家の省エネ
めぐみネットエコ賞	小山中学校 3年 千葉 涼夏	水の使用量を削減して省エネに繋げよう

《めぐみネットエコ大賞》遠藤優花さん

「簡単！我が家のエコクッキング」

私の家では、いつも捨ててしまう物を、どうにか利用できないかを考えながら料理をしています。たとえば、大根やにんじんの皮をよく捨ててしまう人達はいると思います。その皮は、スープのだしやきんぴらごぼうふうに作ったりしたりなどできます。

その他、捨てはしないけど、あまり使いみちのないあまったものなどを、どんなものにもおいしい料理に変えることはできます。





工藤建設株式会社



せっけんの会



全国友の会 水沢友の会



あいあ
愛編む宮古



奥州・いわてNPOネット



衣川小学校 家庭科クラブ



エコ・アイデア



奥州めぐみネット(資源循環・廃棄物部会)



奥州めぐみネット(自然環境部会)



奥州めぐみネット(生活環境部会)



奥州めぐみネット(環境学習部会)



振舞い汁(奥州はっと汁)



地産地消コーナー

次回(平成27年度)の環境フォーラムは、前沢区での開催を予定しています。

今号はフォーラム特集号のため、通常の記事・連載はお休みします。

事務局 奥州市水沢区大手町一丁目1番地 奥州市役所市民環境部生活環境課内
電話 0197-24-2111 / ファックス 0197-51-2374 / メール seikatsu@city.oshu.iwate.jp
ホームページ http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kankyuu/meguminet.html

